

健康科学科

石田直章

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
Para Powerlifting競技の強化に向けたベンチプレス・フォームの改良に対するバイオメカニクスのアプローチの実践研究	共著	2017年3月	名古屋芸術大学研究紀要, 第38巻	石田直章, 菅嶋康浩	pp.41-57
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
パラリンピックに活動に見る現在の障がい者スポーツの到達点	講演	2016年10月	第2回日本健康レクリエーション学会, 岐阜市(岐阜大学)	石田直章	
障害者スポーツの到達点とスポーツ科学からのアプローチ	講演	2017年3月	平成28年度愛知学院大学心身科学研究所シンポジウム	石田直章	

伊藤高行

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. Differing intrinsic biological properties between forebrain and spinal oligodendroglial lineage cells	共著	2017年6月	Journal of Neurochemistry.142巻3号	Horiuchi M, Suzuki-Horiuchi Y, Akiyama T, Itoh A, Pleasure D, Carstens E and Itoh T	pp.378-391

大澤 功

A (著書)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. EBMのための臨床疫学 改訂第2版. 9. 医学判断学	共著	2017年4月	中外医学社	縣 俊彦編著, 金城芳秀, 柳 修平, 大澤 功, 西川浩昭, 佐野浩斎	pp.127-141
2. EBMのための臨床疫学 改訂第2版. 15. 治療	共著	2017年4月	中外医学社	縣 俊彦編著, 金城芳秀, 柳 修平, 大澤 功, 西川浩昭, 佐野浩斎	pp.209-225
B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. 男子高校生が取り組むピア・サポート・プログラムが学校環境適応感に及ぼす影響.	共著	2017年9月	東海学校保健研究. 第41巻	近藤充代, 渡邊智之, 大澤 功	pp.31-42
C (翻訳・資料)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. 査読が育てる学校保健.	単著	2017年4月	学校保健研究. 59巻1号		p.2

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称、開催地	発表者	
1. 卵巣予備能検査を併用したリプロダクティブヘルスプロモーションの試み.	学会発表	2016年11月	第31回日本女性医学学会学術集会, 京都	岩瀬 明, 後藤真紀, 中村智子, 大須賀智子, 滝川幸子, 清水 顕, 笠原幸代, 大澤 功, 糠谷敬子, 吉川史隆	
2. 学習指導要領における保健・医療制度に関するカリキュラムの国際比較.	学会発表	2016年11月	日本学校保健学会第63回学術大会, つくば	加藤 憲, 脇之蘭真理, 田中滉至, 山田浩平, 勝山貴美子, 大澤 功	
3. 学校保健の研究力を高める - さあ, 研究を始めよう! -.	シンポジウム座長	2016年11月	日本学校保健学会第63回学術大会, つくば	大澤 功	
4. さあ研究をはじめよう.	シンポジスト	2016年11月	日本学校保健学会第63回学術大会, つくば	大澤 功	
5. 健康起因事故防止対策	講義	2017年 1 月	愛知県トラック協会物流管理者安全研修, みよし	大澤 功	
6. 健康起因事故防止対策	講義	2017年 4 月	愛知県トラック協会物流管理者安全研修, みよし	大澤 功	
7. 社会医学・医療経済学 1	座長	2017年 5 月	第60回日本糖尿病学会年次学術集会, 名古屋	大澤 功	
8. 健康起因事故防止対策	講義	2017年 6 月	愛知県トラック協会物流管理者安全研修, みよし	大澤 功	
9. 健康起因事故防止対策.	講義	2017年 7 月	愛知県トラック協会物流管理者安全研修, みよし	大澤 功	
10. 「東海学校保健研究」における研究デザインの動向.	学会発表	2017年 9 月	第60回東海学校保健学会, 豊田	井澤昌子, 下村淳子, 大澤 功	
11. 2014年以降に指示された色覚検査後の具体的措置について.	学会発表	2017年 9 月	第60回東海学校保健学会, 豊田	高柳泰世, 宮尾 克, 大澤 功	
12. 事故防止のための健康管理	講義	2017年 9 月	愛知県トラック協会物流安全管理士講座, みよし	大澤 功	
13. 健康づくり施策概論 I, II	講義	2017年 9 月	第114回健康運動実践指導者養成講習会, 名古屋	大澤 功	

片山和男

A (著 書)					
著書、論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所、発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. ストレス社会とメンタルヘルス	共著	2017年 5 月	樹村房	片山和男編著, 山田ゆかり, 高橋 彩, 石牧良浩, 鈴木淳子, 畔柳守男, 竹市あけみ, 菅 吉基, 菅理左香, 目黒達哉, 大住 誠, 猪狩浩史	pp.3-4, 9-13, 158-163
B (論 文)					
著書、論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所、発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. 心のとらえ方の歴史	単著	2017年 9 月	ライフケアジャーナル 第 8 巻第 1 号		pp.19-21

城戸裕子

A (著書)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
2018社会福祉士国試対策 過去問題集 専門科目編2016	共著	2017年5月	福祉教育カレッジ 医学評論社	城戸裕子他	pp.143 - 170
イラストでみる社会福祉用語事典第二版	共著	2017年6月	福祉教育カレッジ 医学評論社	城戸裕子他	
2018社会福祉士全国統一模擬試験 解説書	共著	2017年10月	(株)テコム 福祉教育カレッジ	城戸裕子他	
D (学会発表等)					
演題の名称	発表 形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
東北福祉大学 東京サテライト 講義 医学一般	講師	2017年5月	東北福祉大学 四谷キャンパス	城戸裕子	
認知症ケア学会 認知症と共に生きる ～私も、あなたも、みんなも～	座長	2017年5月	沖縄コンベンションセン ター(沖縄県宜野湾 市)	城戸裕子	
看護学に活かすアロマセラピーの可能性	学会 発表	2017年10月	日本養護教諭教育学会	城戸裕子	
教育ツールとしてのアロマセラピー活用を 考える ～看護学への導入から～	学会 発表	2017年10月	日本アロマセラピー学 会	城戸裕子	
愛知県福祉サービス第三者評価評価者養成 研修 高齢者福祉編	講師	2017年10月	愛知県社会福祉協議会 (愛知県)	城戸裕子	

下村淳子

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. アクティブラーニングを用いた「健康相 談」の授業展開	共	2016年12月	東海学園大学教育学部 研究紀要2(1)	林典子, 石田敦子, 下村淳子, 鎌塚優子	pp.88 - 98
2. 保健室来室児童生徒への養護教諭の関 わり方に関する研究-児童生徒に対して行 うタッチの現状-	共	2017年9月	東海学校保健研究41 (1)	林典子, 下村淳子, 戸田須恵子, 井澤昌子	pp.111 - 121
3. 小学生が付けたい体力と保護者が子ど もに付けさせたい体力	共	2017年9月	東海学校保健研究41 (1)	松原紀子, 千野直仁, 下村淳子, 玉川達雄	pp.15 - 30
D (学会発表等)					
演題の名称	発表 形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1. 背部中央へのタッチによる皮膚温の変 化	学会 発表	2016年11月	第63回日本学校保健学 会学術大会(つくば市)	下村淳子, 林典子, 戸田須恵子	
2. 背部中央へのタッチによる脳活動の変 化	学会 発表	2016年11月	第63回日本学校保健学 会学術大会(つくば市)	森田一三, 下村淳子, 林典子, 戸田須恵子, 佐久間重光	
3. 評価の視点で保健室経営計画を見直そ う-養護教諭だからできる実践後の評価と は-	講演 会講 師	2016年11月	現場で活かせる養護教 諭のためのセミナー 2016 in 名古屋(名古屋 市)		
4. 養護教諭の行う健康相談-今,あらため て普段の実践を見直す-	研修 会講 師	2016年12月	平成28年度愛知県立学 校新規採用養護教諭研 修会(東郷町)		
5. 養護教諭によるデートDV予防教育に 関する研究(1)-高校生からの相談経験と 保健教育との関連-	学会 発表	2017年2月	日本健康相談活動学会 第13回学術集会(坂戸 市)	下村淳子, 赤澤淳子, 井ノ崎敦子, 上野淳子, 松並知子	
6. 養護教諭によるデートDV予防教育に 関する研究(2)-養護教諭のリプロダクテ ィブ・バイアスに関する研究-	学会 発表	2017年2月	日本健康相談活動学会 第13回学術集会(坂戸 市)	井ノ崎敦子, 赤澤淳子, 上野淳子, 下村淳子, 松並知子	

7. アクティブラーニングを取り入れた「健康相談活動の理論と方法」の授業展開	学会発表	2017年2月	日本健康相談活動学会第13回学術集会(坂戸市)	林典子, 石田敦子, 下村淳子, 鎌塚優子	
8. 評価の視点で保健室経営計画を見直そう - 新年度の計画前にすべきこと・考えること -	研究会講師	2017年2月	平成28年度愛知県立高等学校西三河支部養護教諭研究会(岡崎市)		
9. 評価の視点で保健室経営計画を見直そう - 養護教諭が行うべき実践後の評価 -	研修会講師	2017年8月	平成29年度新城市養護教諭研修会(新城市)		
10. 組織マネジメントと保健室経営	研修会講師	2017年8月	平成29年度養護教諭10年経験者研修会(名古屋市)		
11. 体力・運動能力調査の結果からみた小学生が付けたい体力・保護者が子どもに付けさせたい体力	学会発表	2017年9月	第60回東海学校保健学会(豊田市)	松原紀子, 下村淳子, 青嶋裕子	
12. 「東海学校保健研究」における研究デザインの動向	学会発表	2017年9月	第60回東海学校保健学会(豊田市)	井澤昌子, 下村淳子, 大澤功	
13. デートDVを予防・防止する要因の検討(1) - 共感性・怒りの制御・葛藤解決方略とデートDV加害との関連 -	学会発表	2017年9月	日本心理学会第81回大会(久留米市)	赤澤淳子, 井ノ崎敦子, 上野淳子, 下村淳子, 松並知子, 青野篤子	
14. デートDVを予防・防止する要因の検討(2) - 恋人による被支配感を考慮したデートDV被害に葛藤解決方略が与える影響 -	学会発表	2017年9月	日本心理学会第81回大会(久留米市)	上野淳子, 赤澤淳子, 井ノ崎敦子, 松並知子, 青野篤子, 下村淳子	
15. デートDVを予防・防止する要因の検討(3) - 依存的恋愛観と暴力観の関連 -	学会発表	2017年9月	日本心理学会第81回大会(久留米市)	松並知子, 赤澤淳子, 井ノ崎敦子, 上野淳子, 青野篤子, 下村淳子	
16. デートDVを予防・防止する要因の検討(4) - デートDV加害及び被害経験と親密性との関連 -	学会発表	2017年9月	日本心理学会第81回大会(久留米市)	井ノ崎敦子, 赤澤淳子, 上野淳子, 下村淳子, 松並知子, 青野篤子	

水藤弘史

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. 弓道選手の体力特性について	共著	2017年1月	スポーツ医・科学研究MIE. 24巻	杉田正明, 水藤弘史, 八木規夫, 伊藤紀美子	pp.15 - 18
2. 弓道の立射における弓力および的中と矢の初速・投射角度について	共著	2017年1月	スポーツ医・科学研究MIE. 24巻	水藤弘史, 杉田正明, 伊藤紀美子	pp.19 - 22
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1. 親子で体験着衣水泳セミナー	講師	2017年7月	ウィングアリーナ刈谷	水藤弘史	
2. Effect of different of position of the front and rear feet on the kick-start performance in male competitive swimmers.	学会発表	2017年7月	22th Annual The European College of Sport Science, Essen / Germany, 5-8, July	Hiroshi Suito, Kazumasa Ozeki, Yui Kataoka, Yasuo Ikegami	
3. 幼児期における全身反応時間の年齢差および脚伸展筋力との関係	学会発表	2017年9月	第72回日本体力医学会, 愛媛	片岡佑衣, 古田理都, 寺本圭輔, 水藤弘史	

辰巳 寛

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. 失語症候群の診断と治療	共著	2016年10月	神経治療 33・3	辰巳 寛, 山本正彦	pp.362 - 367
2. 摂食嚥下訓練の実際 - 意識障害に対する経口摂取の導入 -	共著	2016年12月	白鳳短期大学研究紀要. 11	木村 航, 辰巳 寛	pp.49 - 56
3. 非アルツハイマー型認知症における書字障害に関する検討 - 前頭側頭型認知症を中心に -	共著	2017年3月	愛知学院大学心身科学研究紀要 心身科学 9・1	下村 唯, 辰巳 寛, 安井敬三, 山本正彦	pp.19 - 30

4. メディカル・スタッフのための失語症の理解度評価尺度 Aphasia Knowledge Test-20の開発	共著	2017年4月	総合リハビリテーション 45・4	辰巳 寛, 仲秋秀太郎, 佐藤正之, 前島伸一郎, 山本正彦	pp.357 - 365
5. Brocaが診た症例“LeborgneとLelong” - 史的展望と今日の意味 -	共著	2017年9月	高次脳機能研究 37・3	辰巳 寛, 佐藤正之, 前島伸一郎, 山本正彦, 波多野和夫	pp.243 - 252
6. Clinical significance of cognitive rehabilitation and psychoeducational intervention on family caregivers of the posterior cortical atrophy: A longitudinal study	共著	2017年9月	Psychogeriatrics 17・9	Tatsumi H, Yamamoto M, Yasui M, Miyake T	in press

D (学会発表等)

演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1. 高次脳機能障害者に対するメンタルケアと QOL・PRO向上との関連性について	学会発表	2016年10月	岐阜県病院協会医学会第32回(高山)	北川敬太, 辰巳 寛	
2. Brocaが診た症例 LeborgneとLelong 史的展望と今日的課題	学会発表	2016年11月	日本高次脳機能障害学会第40回大会(松本)	辰巳 寛, 佐藤正之, 前島伸一郎, 山本正彦, 波多野和夫	
3. “徹底的に”失語症の発話流暢性評価	学会発表	2017年6月	愛知県言語聴覚士協会第12回学術集会(名古屋)	辰巳 寛	
4. 左側頭-頭頂葉の出血性梗塞により流暢性失語を呈した1症例の経時的追跡	学会発表	2017年6月	愛知県言語聴覚士協会第12回学術集会(名古屋)	金森薫子, 辰巳 寛	
5. 代償手段を用いて音韻想起を試みた音韻性失名詞の1例	学会発表	2017年6月	愛知県言語聴覚士協会第12回学術集会(名古屋)	玉腰昌樹, 木村 航, 辰巳 寛	
6. 多彩な高次脳機能障害を呈した小児失語の1例	学会発表	2017年6月	愛知県言語聴覚士協会第12回学術集会(名古屋)	勝野由大, 辰巳 寛, 渡辺 督	
7. 壊死性筋炎後の重度嚥下障害に対するリハビリテーション介入の試み	学会発表	2017年9月	日本摂食嚥下リハビリテーション学会第23回学術大会(千葉)	勝野由大, 辰巳 寛, 加藤重典	
8. 急性期病院におけるミールラウンドの取り組みについて～第2報～ ミールラウンド活動による効果検討	学会発表	2017年9月	日本摂食嚥下リハビリテーション学会第23回学術大会(千葉)	宇佐美康子, 小川佳奈, 古尾麻紀, 山田真実, 畠山桂吾, 甲村亮二, 勝野由大, 辰巳 寛, 青山 豊	
9. Cognitive rehabilitation using Asoblock® for dysexecutive syndrome: A case report	学会発表	2017年9月	The 10th Asia Pacific Conference on Speech, Language and Hearing(Chiba, Japan)	Mori R, Tatsumi H	

外ノ池隆史

D (学会発表等)

演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
色覚多様性と就職～自分の身体について知っておく権利～	学会発表	2017年11月	第55回全国大学保健管理研究集会	外ノ池隆史, 糠谷敬子, 森山恭子	
大学生に対するリプロダクティブ・ヘルス/ライツ支援と教育～官学・学学連携の展開～	学会発表	2017年11月	第55回全国大学保健管理研究集会	糠谷敬子, 森山恭子, 外ノ池隆史, 宇野智子, 青山節子, 都筑一夫, 後藤真紀, 岩瀬 明	
「こころを病む人々と共に生きる-(1)」	東海ラジオ	2016年10月	愛知学院大学放送公開講座	外ノ池隆史	

「こころを病む人々と共に生きる-(2)」	東海ラジオ	2016年10月	愛知学院大学放送公開講座	外ノ池隆史	
----------------------	-------	----------	--------------	-------	--

内藤正和

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
愛知県日進市におけるスポーツ推進計画の実態について	共著	2016年12月	愛知学院大学論叢心身科学部紀要12	内藤正和, 時本識資	pp.55-62
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
「まち・ひと・しごと創生総合戦略」における地方自治体のスポーツ政策に関する一考察～政策形成過程を視点として～	学会発表	2016年12月	日本体育・スポーツ政策学会第26回大会(東京学芸大学)	内藤正和, 横山勝彦	
健康づくりに必要なこと「健康づくりと運動」	講義	2017年2月	日進市大学連携講座(日進市)	内藤正和	
地域におけるスポーツ政策と文化政策の融合に関する一考察～愛知県刈谷市総合型地域スポーツクラブを事例として～	研究発表	2017年7月	2017年度文化経済学会(日本)研究大会(大分県立芸術文化短期大学)	内藤正和, 横山勝彦	
第8章 健康づくり運動の実際 A「ウォームアップとクールダウン」、B「ストレッチング」	講義	2017年9月	健康運動実践指導者第114回養成講習会(名古屋市)	内藤正和	
スポーツと栄養を経営に活かす	講演会	2017年9月	いちい信用金庫次世代倶楽部講座(一宮市)	内藤正和	

長崎 大

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
Alpine Skiing as Winter-Time High-Intensity Training.	共著	2017年9月	Medicine & Science in Sports & Exercise. 49(9)	Thomas Stöggl, Christoph Schwarzl, Edith E. Müller, Masaru Nagasaki, Julia Stöggl, Martin Schönfelder, Josef Niebauer	pp.1859-1867
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
「(1)包括的プログラム作成」 「(2)過体重(肥満)・肥満症と高血糖・糖尿病」	講義	2016年11月	平成28年健康運動指導士養成講習会, 名古屋, 公益財団法人健康・体力づくり事業財団	長崎 大	
スタミナづくりのためのスポーツ栄養学	講義	2017年3月	平成28年度トレーニング指導スキルアップ講習会スケジュール, 愛知会場, 日本健康運動指導士会・特定非営利活動法人日本トレーニング指導者協会	長崎 大	
よくわかる健康づくりの学び	学科紹介	2017年8月	夏のオープンキャンパス, 日進, 愛知学院大学	長崎 大	
健康科学科の白熱教室～スポーツと食トレ～	模擬授業	2017年8月	夏のオープンキャンパス, 日進, 愛知学院大学	長崎 大	

カラダスッキリへの道しるべ	講義・運動指導	2017年8月	実年齢より若いって言われたい！プロが教えるカラダスッキリ塾, 四日市市, 四日市市役所健康づくり課	長崎 大	
運動生理学	講義	2017年9月	第114回健康運動実践指導者養成講習会, 名古屋, 公益財団法人健康・体力づくり事業財団	長崎 大	
よくわかる健康づくりの基本	模擬授業	2017年9月	愛知高校ミニオープンキャンパス, 名古屋, 愛知学院大学	長崎 大	
いす立ち座り運動における速度の違いが血圧応答に及ぼす影響	学会発表	2017年9月	日本体力医学会, 愛媛	島 典広, 菅野昌明, 長崎 大, 齊藤 満	
よくわかる健康づくりの学び	学科紹介	2017年10月	秋のオープンキャンパス, 日進, 愛知学院大学	長崎 大	
美ボディをつくるダイエットと運動!	講演	2017年10月	自己プロデュースカ up! ~外見 & 内面のトータルビューティーセミナー~, 日進, ミュゼプラチナム・特定非営利活動法人日本トレーニング指導者協会・一般社団法人日本摂食障害協会	長崎 大	
復活、強い足腰! ~高齢者の運動入門~, 健康寿命を科学する	運動指導	2017年10月	平成29年度なごや健康カレッジ, 名古屋, 名古屋市・愛知学院大学	長崎 大	

西田 保

A (著書)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
スポーツメンタルトレーニング教本 三訂版(日本スポーツ心理学会編): メンタルトレーニングを支える理論と科学的根拠	単著	2016年12月	大修館書店		pp.12-16
C (翻訳・資料)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
スポーツ心理学からみた負けず嫌い	共著	2017年3月	児童心理(71巻4号)	西田 保, 佐々木万丈, 北村勝朗	pp.54-58
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1. ゴルフ心理学	講義	2016年12月	2016年度PGA入会セミナー, 東京	西田 保	
2. ゴルフ心理学	講義	2017年7月	2017年PGAティーチングプロB級講習会, 掛川	西田 保	
3	主催	2017年8月	第15回スポーツ動機づけ研究会, 名古屋	西田 保	
4. シンポジウム1,2,3,4,	企画	2017年8月	第15回スポーツ動機づけ研究会, 名古屋	西田 保	

5. 動機づけ再考	シンポジウム企画司会演者	2017年8月	第15回スポーツ動機づけ研究会, 名古屋	西田 保	
6. 子どもの運動能力と運動遊びに対する保護者の認識	口頭発表司会	2017年8月	第15回スポーツ動機づけ研究会, 名古屋	武田直之	
7. マルチレベル分析で見えてくるもの	口頭発表司会	2017年8月	第15回スポーツ動機づけ研究会, 名古屋	森 恭	

早川 統子

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
TRIAL TELEPRACTICE FOR CLEFT PALATE SPEECH : THE PRACTICAL USE OF TELEPRACTICE IN JAPAN	共	2016年12月	AICHI-GAKUIN DENTAL SCIENCE (29)	Toko Hayakawa, Nagato Natsume, Fuko Yamauchi, Hideto Imura, Chisako Inoue, Yoshiko Aihara, Hiyori Makino, Chisato Sakuma, Maya Ono, Shinichi Nakahara, Masahiko Yamamoto	pp.27 - 32
Robin sequence の疫学調査		2016年9月	愛知学院大学歯学会誌 54(3)	中原晋一, 新美照幸, 古川博雄, 大野磨弥, 早川統子, 長瀬好和, 外山佳孝, 井村英人, 栗田賢一, 夏目長門	pp.255 - 260
口唇口蓋裂児の口腔ケアに関する研究 : 口腔内装置の細菌数と口蓋の細菌数の比較		2016年9月	愛知学院大学歯学会誌 54(3)	井村英人, 鈴木 聡, 鈴木俊夫, 古川博雄, 新美照幸, 南 克浩, 森 明弘, 大野 磨弥, 早川統子, 八木真里奈, 佐久間千里, 松下和子, 中原晋一, 夏目 長門	pp.235 - 239
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
The trial telepractice for cleft palate speech between Mongolia and Japan	学会発表	2016年10月	10TH WORLD CLEFT LIP & PALATE CONGRESS, (CHENNAI, INDIA)	Toko Hayakawa	
発展途上国での言語評価と技術移転に関する研究 第二報 - ベトナム社会主義共和国での言語評価 -	学会発表	2017年5月	第41回 日本口蓋裂学会総会・学術集会(東京)	新美照幸, 早川統子, 大久保瑞姫, 井村英人, 佐久間千里, 山内楓子, 伊東雅哲, 光安岳志, 三古谷忠, 柳澤繁孝, 夏目長門	

古川 博雄

A (著 書)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. 言語聴覚士のための基礎知識 臨床歯科 医学・口腔外科学 第2版, 「菌の異常と疾 患および治療法」	単著	2016年12月	医学書院(東京)		pp.36-43
B (論 文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. 先天異常に関する疫学的研究 愛知・ 岐阜・三重県の先天異常発生頻度に関する 2015年調査報告	共著	2017年5月	愛知県産婦人科医会会 報, 70	夏目長門, 井村英人, 佐久間千里, 藤原久美子, 新美照幸, 古川博雄, 南 克浩, 鈴木 聡, 大野磨弥, 森 明弘, 山内楓子, 早川統子, 井上知佐子, 牧野日和, 森 智子, 相原喜子, 吉川史隆	pp.100-101
2. 口唇口蓋裂患者に関する疫学的研究 第 64報 口唇・口蓋裂の裂型別発現率	共著	2017年9月	愛知学院大学歯学会誌, 55(3)	中原晋一, 新美照幸, 吉田磨弥, 鈴木 聡, 古川博雄, 井村英人, 早川統子, 佐久間千里, 伊東雅哲, 夏目長門	pp.191-201
D (学会発表等)					
演題の名称	発表 形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1. 基底細胞母斑症候群の臨床的観察 第 1報 家族内の表現型について	学会 発表	2016年10月	第33回日本障害者歯科 学会総会及び学術大会 (福岡)	佐久間千里, 井村英人, 古川博雄, 新美照幸, 夏目長門	
2. 口唇口蓋裂に関する遺伝子研究第5報 遺伝子バンキングシステムにおけるサンプ ル収集状況(2016年6月分まで)	学会 発表	2016年10月	第49回 NPO 法人口腔 科学会九州地方部会(沖縄)	大野磨弥, 新美照幸, 井村英人, 鈴木 聡, 伊東雅哲, 中原晋一, 吉田和加, 南 克浩, 古川博雄, 夏目長門	
3. 非症候性口唇口蓋裂患者におけるME OX 2 遺伝子多形解析	学会 発表	2016年11月	第61回(公社)日本口腔 外科学会総会・学術大 会	森 明弘, 井村英人, 鈴木 聡, 大野磨弥, 佐久間千里, 伊東雅哲, 古川博雄, 新美照幸, 南 克浩, 夏目長門	
4. A SURVEY OF CONGENTALLY MISSING PERMANENT TEETH AMONG PEOPLE WITH 22Q11.2 DELETION SYNDROME	学会 発表	2016年11月	12th Asian Congress on Oral&Maxillofacial Surgery, (Manila Phillippines)	Toko Hayakawa, Akihiro Mori, Hideto Imura, Teruyuki Niimi, Hiroo Furukawa, Yoshitaka Toyama, Ryohei Matsukawa, Maya Ono, Chisato Sakuma, Masahiko Yamamoto, Nagato Natsume	
5. 口唇口蓋裂児の口腔ケアに関する研究 第3報口唇口蓋裂児の齶蝕罹患者率と矯正 治療への影響について	学会 発表	2017年4月	第14回日本口腔ケア学 会総会・学術大会(沖 縄)	佐久間千里, 井村英人, 古川博雄, 新美照幸, 南 克浩, 鈴木 聡, 相原喜子, 大野磨弥, 鈴木俊夫, 夏目長門	

6. 口蓋裂言語に対する一般人の認知に関する研究 第13報：正常・異常評価に影響を及ぼす発話者印象要因	学会発表	2017年5月	第41回日本口蓋裂学会総会・学術集会(東京)	相原喜子, 早川統子, 井上知佐子, 森 智子, 佐久間千里, 井村英人, 新美照幸, 古川博雄, 片山和男, 夏目長門	
7. 口蓋裂言語に対する一般人の認知に関する研究 第14報：正常・異常評価に影響を及ぼす終助詞表現	学会発表	2017年5月	第41回日本口蓋裂学会総会・学術集会(東京)	相原喜子, 早川統子, 井上知佐子, 森智子, 佐久間千里, 井村英人, 新美照幸, 古川博雄, 片山和男, 夏目長門	
8. モンゴル国における医療協力と学術調査報告, 第5報：2016年度報告	学会発表	2017年5月	第41回日本口蓋裂学会総会・学術集会(東京)	夏目長門, 夏目長奈, 吉田和加, 永田咲里佳, 佐久間千里, 大野磨弥, 森 明弘, 山内楓子, 古川博雄, 鈴木 聡, 新美照幸, 南 克浩, 中原晋一, 井村英人, 八木真理奈, 齋藤直樹, 鈴木俊夫, 伊東雅哲, 秋山泰範	
9. 口唇口蓋裂に関する遺伝子研究 第6報：2015年遺伝子バンキングシステム成果報告	学会発表	2017年5月	第41回日本口蓋裂学会総会・学術集会(東京)	夏目長門, 夏目長奈, 吉田和加, 永田咲里佳, 佐久間千里, 大野磨弥, 森 明弘, 山内楓子, 古川博雄, 鈴木 聡, 新美照幸, 南 克浩, 中原晋一, 井村英人, 八木真理奈, 齋藤直樹, 鈴木俊夫, 伊東雅哲, 秋山泰範	
10. 口唇口蓋裂出生前カウンセリングの現状2012-2016年報告	学会発表	2017年5月	第41回日本口蓋裂学会総会・学術集会(東京)	井村英人, 夏目長門, 鈴木 聡, 大野磨弥, 森 明弘, 佐久間千里, 伊東雅哲, 南 克浩, 新美照幸, 古川博雄	
11. 口唇・口蓋裂患者に関する疫学的研究 第62報：東海地区における2015年の本症出生調査報告	学会発表	2017年5月	第41回日本口蓋裂学会総会・学術集会(東京)	佐久間千里, 井村英人, 早川統子, 吉田和加, 齋藤直樹, 増田浩男, 加藤大貴, 藤原久美子, 鈴木 聡, 古川博雄, 南 克浩, 新美照幸, 大野磨弥, 山内楓子, 森 明弘, 伊東雅哲, 秋山泰範, 夏目長奈, 夏目長門	
12. 基底細胞母斑症候群の臨床的観察 第2報3家族内の表現型について	学会発表	2017年5月	第41回日本口蓋裂学会総会・学術集会(東京)	伊東雅哲, 井村英人, 佐久間千里, 古川博雄, 新美照幸, 夏目長門	
13. 口唇口蓋裂患者とその家族に対する遺伝カウンセリングの現状 第7報 2016年度成果報告	学会発表	2017年5月	第41回日本口蓋裂学会総会・学術集会(東京)	大野磨弥, 井村英人, 新美照幸, 古川博雄, 南 克浩, 佐久間千里, 夏目長門	
14. 非症候性口蓋裂患者における MEOX 2 遺伝子多型解析	学会発表	2017年5月	第41回日本口蓋裂学会総会・学術集会(東京)	森 明弘, 井村英人, 鈴木 聡, 大野磨弥, 古川博雄, 新美照幸, 佐久間千里, 伊東雅哲, 南 克浩, 早川統子, 夏目長門	

15. エチオピア連邦共和国における口唇口蓋裂医療援助活動の検討	学会発表	2017年7月	歯科保健医療国際協力協議会第28回総会および学会(東京)	西原一秀, 後藤尊広, 岐部俊郎, 古川博雄, 中村典史, 夏目長門, 新崎章	
16. エチオピア連邦民主共和国における先天異常に関する研究 第3報	学会発表	2017年8月	第57回日本先天異常学会学会(東京)	古川博雄, 鈴木 聡, 吉田磨弥, 山内楓子, 井村英人, 西原一秀, 夏目長門	
17. 愛知学院大学歯学部附属病院 言語治療外来における口唇口蓋裂患者についての報告	学会発表	2017年8月	第57回日本先天異常学会学会(東京)	井上知佐子, 森 智子, 相原喜子, 秋山芳夫, 齋藤直樹, 井村英人, 大久保瑞姫, 南 克浩, 新美照幸, 古川博雄, 夏目長門	
18. 未手術粘膜下口蓋裂症例の臨床的研究 第5報 初期の言語評価について	学会発表	2017年8月	第57回日本先天異常学会学会(東京)	森 智子, 井上知佐子, 早川統子, 相原喜子, 齋藤直樹, 井村英人, 吉田磨弥, 佐久間千里, 新美照幸, 南 克浩, 古川博雄, 夏目長門	
19. 口唇・口蓋裂の裂型別発現率	学会発表	2017年9月	第60回日本口腔科学会中部地方部会(名古屋)	中原晉一, 新美照幸, 吉田磨弥, 鈴木 聡, 古川博雄, 夏目長門	
20. 歯科医師と言語聴覚士のチームアプローチによる口腔疾患患者の新たな治療戦略	学会発表	2016年7月	愛知学院大学歯学会石川県地方学術講演会(金沢)	古川博雄	

牧野日和

A (著 書)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. 介護職のための「食べる」機能を維持するケア 第8回 食べる支援を成功させる具体的手法④-食べるか否かを決定する	単著	2017年11月	中央法規出版, おはよう21 1月号 2017		pp.64-67
2. 介護職のための「食べる」機能を維持するケア 第9回 食べる支援を成功させる具体的手法⑤-口に取り込む	単著	2017年12月	中央法規出版, おはよう21 2月号 2017		pp.60-64
3. 言語聴覚士のための基礎知識 臨床歯科医学・口外科学 第2版	単著	2016年12月	株式会社医学書院		pp.219-221
4. 介護職のための「食べる」機能を維持するケア 第10回 食べる支援を成功させる具体的手法⑥-「口に取り込む」を支援する	単著	2017年1月	中央法規出版, おはよう21 3月号 2017		pp.64-67
5. 介護職のための「食べる」機能を維持するケア 第11回 食べる支援を成功させる具体的手法⑦-口に入れる前(先行期)の支援のまとめ	単著	2017年2月	中央法規出版, おはよう21 4月号 2017		pp.60-64
6. 介護職のための「食べる」機能を維持するケア 第12回 食べる支援を成功させる具体的手法⑧-口の中で食塊に調える(口腔準備期)	単著	2017年3月	中央法規出版, おはよう21 5月号 2017		pp.64-67
7. 介護職のための「食べる」機能を維持するケア 第13回 食べる支援を成功させる具体的手法⑨-食塊を飲む/集積	単著	2017年4月	中央法規出版, おはよう21 6月号 2017		pp.59-62
8. 介護職のための「食べる」機能を維持するケア 第14回 食べる支援を成功させる具体的手法⑩-嚥下反射/駆出	単著	2017年5月	中央法規出版, おはよう21 7月号 2017		pp.58-61

9. 介護職のための「食べる」機能を維持するケア 第15回 食べる支援を成功させる具体的手法⑩－(食道への)移送	単著	2017年6月	中央法規出版, おはよう21 8月号 2017		pp.58-61
10. 介護職のための「食べる」機能を維持するケア 第16回 食べる支援を成功させる具体的手法⑪－食道～排泄へ	単著	2017年7月	中央法規出版, おはよう21 9月号 2017		pp.58-61
11. 介護職のための「食べる」機能を維持するケア 第17回 食べられなくなった方の支え方①－食の構造化以外のアセスメント項目	単著	2017年8月	中央法規出版, おはよう21 10月号 2017		pp.62-65
12. 介護職のための「食べる」機能を維持するケア 最終回 食べられなくなった方の支え方②－介護職としての役割	単著	2017年9月	中央法規出版, おはよう21 11月号 2017		pp.58-61
13. 「むせ込み」「誤嚥性肺炎」を繰り返す食形態の変更のタイミング①	単著	2017年2月	全国高齢者施設看護師会		全72頁
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1. 「口から食べる支援を成功させるコツ・最後まで口から食べるための支援」	講演	2016年10月	(株)中庄本店 第2回介護・治療食セミナー(福知山)	牧野日和	
2. 最期まで口から食べる支援を成功させるコツ	講演	2016年10月	岩手県栄養士会(盛岡)	牧野日和	
3. 「むせ込み」・「口を開けない」～“食形態”の選択・変更のタイミングと食事ケア	講演	2016年10月	全国高齢者施設看護師会(大阪)	牧野日和	
4. 「むせ込み」・「口を開けない」～“食形態”の選択・変更のタイミングと食事ケア	講演	2016年10月	全国高齢者施設看護師会(沖縄)	牧野日和	
5. 最期まで口から食べるコツ - お食い締め支援がともたせるもの」	講演	2016年10月	福井県歯科衛生士会(福井)	牧野日和	
6. 口から食べるを成功させるテクニック～食機能と食形態の対応	講演	2016年11月	グループホーム来夢(常陸太田)	牧野日和	
7. 人生最期の食支援の実際～よほう、リハビリテーションからお食い締め支援まで	講演	2016年11月	茨城県水戸歯科医師会(水戸)	牧野日和	
8. 口から食べるを成功させるコツ	講演	2016年11月	株式会社ふくなお(愛媛)	牧野日和	
9. 最期まで食べるケア	講演	2016年11月	株式会社ノーブレイク(米原)	牧野日和	
10. 最期まで食べるためのコツと支援の実際(支援者向け)	講演	2016年11月	ハーモニー聖和(福岡筑紫野)	牧野日和	
11. 最期まで食べるコツと支援の実際 - 最期まで食べるためのコツと予約、取り戻し、看取り支援の実際	講演	2016年11月	ハーモニー聖和(福岡筑紫野)	牧野日和	
12. 「むせ込み」・「口を開けない」～“食形態”の選択・変更のタイミングと食事ケア	講演	2016年11月	全国高齢者施設看護師会(福岡)	牧野日和	
13. 「むせ込み」・「口を開けない」～“食形態”の選択・変更のタイミングと食事ケア	講演	2016年11月	全国高齢者施設看護師会(宮崎)	牧野日和	
14. 口から食べるを成功させるコツ	講演	2016年11月	株式会社ふくなお(島根)	牧野日和	
15. 最期まで食べるケア～お食い締めの観点から～	講演	2016年12月	株式会社 gene(東京)	牧野日和	
16. 最期まで口から食べるケア	講演	2016年12月	日本訪問リハビリテーション学会(東京)	牧野日和	
17. 人生最期まで食べるケア ～「お食い締め」の観点から～	講演	2016年12月	神奈川摂食嚥下リハビリテーション研究会(南足柄市)	牧野日和	
18. 『お食い締め』“人生最期”の食事を支えるアプローチ	講演	2016年12月	全国高齢者施設看護師会(大阪)	牧野日和	
19. 最期まで口から食べる！機能を引き出す介助、ダメにする介助	講演	2016年12月	全国高齢者施設看護師会(岡山)	牧野日和	

20. ライフサイクルでみる摂食嚥下障害の支援	講演	2016年12月	日本語聴覚士会(札幌)	牧野日和	
21. 最期まで口から食べる！機能を引き出す介助、ダメにする介助	講演	2016年12月	全国高齢者施設看護師会(広島)	牧野日和	
22. 「むせ込み」・「口を開けない」～“食形態”の選択・変更のタイミングと食事ケア	講演	2016年12月	全国高齢者施設看護師会(金沢)	牧野日和	
23. 最期まで口から食べる！機能を引き出す介助、ダメにする介助	講演	2017年1月	全国高齢者施設看護師会(宮崎)	牧野日和	
24. 「みとり期にかけての摂食嚥下リハビリテーション～最期まで食べるケア お食い締め～」	講演	2017年1月	株式会社 gane(大阪)	牧野日和	
25. 「看取りケアプランの中での食事摂取」みとりのケアプラン作成のために	講演	2017年1月	広島ケアマネ会主催(広島)	牧野日和	
26. 「口から食べる支援を成功させるコツ」ゆりかごからみとりまで	講演	2017年1月	びわこ学園医療福祉センター(滋賀県野洲)	牧野日和	
27. 最期まで口から食べる！機能を引き出す介助、ダメにする介助	講演	2017年1月	全国高齢者施設看護師会(名古屋)	牧野日和	
28. 最期まで口から食べる！機能を引き出す介助、ダメにする介助	講演	2017年1月	全国高齢者施設看護師会(沖縄)	牧野日和	
29. 「むせ込み」・「口を開けない」～“食形態”の選択・変更のタイミングと食事ケア	講演	2017年1月	全国高齢者施設看護師会(釧路)	牧野日和	
30. 『お食い締め』“人生最期”の食事を支えるアプローチ	講演	2017年1月	全国高齢者施設看護師会(東京)	牧野日和	
31. 口から食べる支援を成功させるコツ	講演	2017年2月	常陸大宮常陸太田薬剤師会合同研修会(水戸)	牧野日和	
32. 最期まで口から食べるを支えるケア お食い締め	講演	2017年2月	茨城県水戸歯科医師会(水戸)	牧野日和	
33. 「むせ込み」・「口を開けない」～“食形態”の選択・変更のタイミングと食事ケア	講演	2017年2月	全国高齢者施設看護師会(福島)	牧野日和	
34. 認知症予防と食 対象者中心の食支援	講演	2017年2月	NPO 法人県地域密着型介護サービス協議会 認知症市民フォーラム in 常陸太田(茨城県常陸太田市)	牧野日和	
35. 「口から食べる支援を成功させるコツ」	講演	2017年2月	株式会社ふくなお(隠岐)	牧野日和	
36. 牧野式 食べない方の支え方 嚥下機能の見極める支援とライフパトン	講演	2017年2月	メディケアアカデミー 摂食嚥下セミナー(埼玉県浦和市)	牧野日和	
37. 口から食べる支援を成功させるコツ	講演	2017年2月	岐阜県栄養士会(岐阜)	牧野日和	
38. みとり期にかけての摂食嚥下リハビリテーション～最期まで食べるケア お食い締め～	講演	2017年2月	株式会社 gene(大阪)	牧野日和	
39. 口から食べる支援を成功させるコツ 嚥下機能と食形態の対応	講演	2017年2月	大津市歯科医師会主催(大津市)	牧野日和	
40. 最期まで口から食べる！機能を引き出す介助、ダメにする	講演	2017年2月	全国高齢者施設看護師会(仙台)	牧野日和	
41. 最期まで口から食べる！機能を引き出す介助、ダメにする介助	講演	2017年2月	全国高齢者施設看護師会(東京)	牧野日和	
42. 最後まで食べる支援を行うためのコツ	講演	2017年2月	高知病院(高知)	牧野日和	
43. 最期まで口から食べる！機能を引き出す介助、ダメにする介助	講演	2017年3月	全国高齢者施設看護師会(盛岡)	牧野日和	
44. 最期まで口から食べる！機能を引き出す介助、ダメにする介助	講演	2017年3月	全国高齢者施設看護師会(釧路)	牧野日和	
45. 最期まで口から食べる！機能を引き出す介助、ダメにする介助	講演	2017年3月	全国高齢者施設看護師会(札幌)	牧野日和	
46. 最期まで口から食べる！機能を引き出す介助、ダメにする介助	講演	2017年3月	全国高齢者施設看護師会(金沢)	牧野日和	

47. 最後まで食べるケア～お食い締め観 点～	講演	2017年3月	石川県言語聴覚士会 (金沢)	牧野日和	
48. 食思不良への対応について～お食い 絞めの観点から～	講演	2017年3月	富山県言語聴覚士会 (富山)	牧野日和	
49. みとり期にかけての摂食嚥下リハビ リテーション～最期まで食べるケア お 食い締め～	講演	2017年3月	株式会社 gene(大阪)	牧野日和	
50. 最期まで口から食べる！機能を引き 出す介助、ダメにする介助	講演	2017年3月	全国高齢者施設看護師 会(福岡)	牧野日和	
51. 最期まで口から食べる！機能を引き 出す介助、ダメにする介助	講演	2017年3月	全国高齢者施設看護師 会(鹿児島)	牧野日和	
52. 口から食べる支援を成功させるコ ツ	講演	2017年3月	京都市歯科衛生士会 (京都宮津)	牧野日和	
53. 『お食い締め』人生最期の食事を支 えるアプローチ	講演	2017年4月	全国高齢者施設看護師 会(仙台)	牧野日和	
54. "最期まで口から食べる"機能を引 き出す介助、ダメにする介助	講演	2017年4月	全国高齢者施設看護師 会(大阪)	牧野日和	
55. 食べる機能の獲得と喪失ならびに障 害支援～小児の嚥下障害に学ぶ高齢者 支援～	講演	2017年4月	西宮福祉用具体験会 (兵庫)	牧野日和	
56. "最期まで口から食べる"機能を引 き出す介助、ダメにする介助	講演	2017年4月	全国高齢者施設看護師 会(山口)	牧野日和	
57. 「むせ込み」・「口を開けない」～ "食形態"の選択・変更のタイミングと 食事ケア 2017改訂版	講演	2017年4月	全国高齢者施設看護師 会(名古屋)	牧野日和	
58. 『お食い締め』人生最期の食事を支 えるアプローチ	講演	2017年4月	全国高齢者施設看護師 会(沖縄)	牧野日和	
59. 「むせ込み」・「口を開けない」～ "食形態"の選択・変更のタイミングと 食事ケア 2017改訂版	講演	2017年5月	全国高齢者施設看護師 会(山梨)	牧野日和	
60. 「むせ込み」・「口を開けない」～ "食形態"の選択・変更のタイミングと 食事ケア 2017改訂版	講演	2017年5月	全国高齢者施設看護師 会(長野)	牧野日和	
61. 「実践形式！お口のとらえかた・作 りかた」	講演	2017年5月	全国高齢者施設看護師 会(仙台)	牧野日和	
62. 「食べてもらいたい…」口を開け ない認知症高齢者への支援アプローチ	講演	2017年5月	全国高齢者施設看護師 会(仙台)	牧野日和	
63. その食形態は対象者の口に合っ ていますか？	講演	2017年5月	全国高齢者施設看護師 会(盛岡)	牧野日和	
64. 『新・お食い締め』人生最期の食 事を支えるアプローチ	講演	2017年5月	全国高齢者施設看護師 会(福岡)	牧野日和	
65. 「むせ込み」・「口を開けない」 "食形態"の選択・変更のタイミング と食事ケア2017改訂版	講演	2017年6月	全国高齢者施設看護師 会(宮古)	牧野日和	
66. 「食べてもらいたい…」口を開け ない認知症の方の支援アプローチ	講演	2017年6月	全国高齢者施設看護師 会(札幌)	牧野日和	
67. 「最期の支援 お食い締め！」～ みとり期の支援がすべての支援にも たらせるもの～	講演	2017年6月	九州山口三ツ星セミナ ー(小倉)	牧野日和	
68. "最期まで口から食べる"機能を 引き出す介助、ダメにする介助	講演	2017年6月	全国高齢者施設看護師 会(横浜)	牧野日和	
69. 「むせ込み」・「口を開けない」 "食形態"の選択・変更のタイミング と食事ケア2017改訂版	講演	2017年7月	全国高齢者施設看護師 会(東京)	牧野日和	
70. 「食べてもらいたい…」口を開け ない認知症高齢者への支援アプローチ	講演	2017年7月	全国高齢者施設看護師 会(大阪)	牧野日和	
71. その食形態は対象者の口にあって いますか？摂食嚥下機能と嚥下食の 対応	講演	2017年7月	株式会社ふくなお(青 森八戸)	牧野日和	
72. その食形態は対象者の口にあって いますか？摂食嚥下機能と嚥下食の 対応	講演	2017年7月	株式会社ふくなお(青 森下北)	牧野日和	

73. みとり期にかけての摂食嚥下リハビリテーション～最期まで食べるケア お食い締め	講演	2017年7月	株式会社 gane(東京)	牧野日和	
74. その食形態は対象者の口にあってい ますか？摂食嚥下機能と嚥下食の対応	講演	2017年7月	株式会社ふくなお(徳島)	牧野日和	
75. 「食べてもらいたい…」口を開けない 認知症の方の支援アプローチ	講演	2017年7月	全国高齢者施設看護師会(愛媛松山)	牧野日和	
76. 今さら聞けない 摂食嚥下のメカニ ズムと支援法「いろは」から「ほへと」へ	講演	2017年7月	社会医療法人 杏嶺会(愛知県一宮市)	牧野日和	
77. 「食べてもらいたい…」口を開けない 認知症の方の支援アプローチ	講演	2017年7月	全国高齢者施設看護師会(名古屋)	牧野日和	
78. 「むせ込み」・「口を開けない」食形態の 選択・変更のタイミングと食事ケア2017改 訂版	講演	2017年7月	全国高齢者施設看護師会(京都)	牧野日和	
79. 人生最期のあるべき姿を考える～食支 援：お食い締めの立場から～	講演	2017年8月	隠岐島前病院(島根県)	牧野日和	
80. 最新！摂食嚥下リハビリテーション論 可能性のある限りとりもどせ	講演	2017年8月	隠岐島前病院(島根県)	牧野日和	
81. 「むせ込み」・「口を開けない」食形態の 選択・変更のタイミングと食事ケア2017改 訂版	講演	2017年8月	全国高齢者施設看護師会(沖縄)	牧野日和	
82. 「食べてもらいたい…」口を開けない 認知症の方の支援アプローチ	講演	2017年8月	全国高齢者施設看護師会(東京)	牧野日和	
83. 『新・お食い締め』人生最期の食事を 支えるアプローチ	講演	2017年8月	全国高齢者施設看護師会(横浜)	牧野日和	
84. その食形態は対象者の口に合ってい ますか？	講演	2017年8月	株式会社ハウディ(熊本)	牧野日和	
85. 人生最期の食事を支えるアプローチ～ お食い締めセミナー	講演	2017年8月	札幌西円山病院(札幌)	牧野日和	
86. 「食べてもらいたい…」口を開けない 認知症の方の支援アプローチ	講演	2017年8月	全国高齢者施設看護師会(東京)	牧野日和	
87. その食形態は対象者の口にあってま すか？	講演	2017年8月	西宮市薬剤師会&尼崎薬剤師会(西宮)	牧野日和	
88. 「食べてもらいたい…」口を開けない 認知症の方の支援アプローチ	講演	2017年8月	全国高齢者施設看護師会(佐賀)	牧野日和	
89. 「食べてもらいたい…」口を開けない 認知症の方の支援アプローチ	講演	2017年8月	全国高齢者施設看護師会(鹿児島)	牧野日和	
90. その食事形態は対象者の口に合ってい ますか？	講演	2017年8月	株式会社ふくなお(福井)	牧野日和	
91. 人生最期のあるべき姿を考える～お食 い締め支援の立場から～	講演	2017年9月	岩手県立病院総合学会(岩手盛岡)	牧野日和	
92. 「食べてもらいたい…」口を開けない 認知症の方の支援アプローチ	講演	2017年9月	全国高齢者施設看護師会(佐賀)	牧野日和	
93. 看取りケアプランの中での食事摂取～ 人生にお食い初めがあるならお食い締めも あるはず～	講演	2017年9月	広島県安芸市社会福祉協議会(広島安芸太田)	牧野日和	
94. 人生最後のあるべき姿を考える食支 援：お食い締めの立場から	講演	2017年9月	壱岐のこころ(長崎壱岐)	牧野日和	
95. その食形態は対象者の口に合ってい ますか？	講演	2017年9月	株式会社ふくなお(大分)	牧野日和	
96. 「歯磨きでない」専門的口腔ケアと再び 口から食べるための実技セミナー～口を開 けない、口臭が消えない、誤嚥性肺炎をくり かえすなどの難渋例のアプローチ～	講演	2017年9月	全国高齢者施設看護師会(福岡)	牧野日和	
97. 最新の摂食嚥下リハビリテーション	講演	2017年9月	北海道医療大学歯学部同窓会北海道支部連合会釧路支部(釧路)	牧野日和	
98. ”最期まで口から食べる”機能を引き出 す介助、ダメにする介助	講演	2017年9月	全国高齢者施設看護師会(仙台)	牧野日和	

99. "最期まで口から食べる"機能を引き出す介助、ダメにする介助	講演	2017年9月	全国高齢者施設看護師会(千葉)	牧野日和	
100. 今さら聞けない摂食嚥下のメカニズムと支援法「いろは」から「ほへと」まで	講演	2017年9月	全国高齢者施設看護師会(茅ヶ崎市)	牧野日和	
101. その食形態は対象者の口にありますか？	講演	2017年9月	株式会社ふくなお(明石市)	牧野日和	
102. 「歯磨きでない」専門的口腔ケアと再び口から食べるための実技セミナー～口を開けない、口臭が消えない、誤嚥性肺炎をくりかえすなどの難渋例のアプローチ～	講演	2017年9月	全国高齢者施設看護師会(大阪)	牧野日和	

山本正彦

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. 失語症候群の診断と治療	共著	2016年10月	神経治療 33(3)	辰巳 寛, 山本正彦	pp.362 - 367
2. Articulation features of Parkinson's disease patients with subthalamic nucleus deep brain stimulation.	共著	2016年10月	J Parkinsons Dis 6 (4)	Tanaka Y, Tsuboi T, Watanabe H, Kajita Y, Nakatsubo D, Fujimoto Y, Ohdake R, Ito M, Atsuta N, Yamamoto M, Wakabayashi T, Katsuno M, Sobue G	pp.811 - 819
3. Trial telepractice for cleft palate speech : The practical use of telepractice in Japan.	共著	2016年10月	AICHI-GAKUIN DENTAL SCIENCE 29	Hayakawa T, Natsume N, Yamauchi F, Imura H, Inoue C, Aihara Y, Makino H, Sakuma C, Ono M, Nakahara S, Yamamoto M	pp.27 - 32
4. Phonologic and acoustic analysis of speech following glossectomy and the effect of rehabilitation on speech outcomes.	共著	2016年11月	J oral maxillofac surg 75(1)	Takatsu J, Hanai N, Suzuki H, Nishikawa D, Fukuda Y, Yoshida M, Tanaka Y, Tanaka S, Hasegawa Y, Yamamoto M	pp.1530 - 1541
5. 非アルツハイマー型認知症における書字障害に関する検討 - 前頭側頭型認知症を中心に -	共著	2017年3月	愛知学院大学心身科学研究紀要 心身科学9(1)	下村 唯, 辰巳 寛, 安井敬三, 山本正彦	pp.19 - 30
6. メディカル・スタッフのための失語症の理解度評価尺度 Aphasia Knowledge Test-20の開発	共著	2017年4月	総合リハビリテーション 45(4)	辰巳 寛, 仲秋秀太郎, 佐藤正之, 前島伸一郎, 山本正彦	pp.357 - 365

7. Swallowing markers in spinal and bulbar muscular atrophy.	共著	2017年5月	Ann Clin Transl Neurol 4(8)	Banno H, Katsuno M, Suzuki K, Tanaka S, Suga N, Hashizume A, Mano T, Araki A, Watanabe H, Fujimoto Y, <u>Yamamoto M</u> , Sobue G	pp.534-543
8. Brocaが診た症例“LeborgneとLelong” - 史的展望と今日的意味 -	共著	2017年9月	高次脳機能研究 37(3)	辰巳 寛, 佐藤正之, 前島伸一郎, <u>山本正彦</u> , 波多野和夫	pp.243-252
9. Clinical significance of cognitive rehabilitation and psychoeducational intervention on family caregivers of the posterior cortical atrophy: A longitudinal study.	共著		Psychogeriatrics 17(9)	Tastumi H, <u>Yamamoto M</u> , Yasui M, Miyake T	in press

D (学会発表等)

演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1. 喉頭亜全摘術後の嚥下機能に対する定量的解析	学会発表	2016年10月	第22回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 新潟市	高津 淳, 青山寿昭, <u>山本正彦</u>	
2. Broca が診た症例 Leborgne と Lelong 史的展望と今日的課題	学会発表	2016年11月	日本高次脳機能障害学会第40回大会, 松本	辰巳 寛, 佐藤正之, 前島伸一郎, <u>山本正彦</u> , 波多野和夫	
3. 舌癌周術期62例における構音障害の音声学的・音響学的検討	学会発表	2017年6月	第41回日本頭頸部癌学会, 京都市	高津 淳, 花井信広, 鈴木秀典, 西川大輔, 福田裕次郎, 小出悠介, 長谷川泰久, <u>山本正彦</u>	
4. 中咽頭癌治療後の嚥下リハビリテーションに対する定量的解析	学会発表	2017年9月	第23回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 千葉市	高津 淳, 青山寿昭, 和座雅浩, 牧野日和, <u>山本正彦</u>	
5. 疾病医療から予防医療への展開 - 遺伝医学およびリハビリ医学の視点 -	講演会	2017年5月	愛知学院大学公開講座, 日進市	<u>山本正彦</u>	

渡辺輝也

B (論文)

著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. 男子大学生短距離走競技者におけるラウンド戦術達成力の習得過程	共著	2017年6月	陸上競技研究, 109号	鷺森勇誠, <u>渡辺輝也</u>	pp.20-30
2. 競走相手との駆け引きを学ぶ長距離走の新しい学習指導過程の提案	共著	2017年6月	体育学研究, 62巻1号	高嶋香苗, <u>渡辺輝也</u> , 周東和好	pp.49-70

C (翻訳・資料)

著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. 体育授業のリスクマネジメント<7>(走り高跳び)	単著	2016年10月	楽しい体育授業, 29巻10号		pp.66-67
2. 体育授業のリスクマネジメント<8>(ハードル走)	単著	2016年11月	楽しい体育授業, 29巻11号		pp.66-67

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1. New step by step approach for distancing the takeoff point further from the bar when high jumping using the flop technique	学会発表	2016年11月	7th European Pole Vault and High Jump Conference (Cologne (Germany))	Teruya Watanabe	
2. Struggle for developing better Physical Education teachers	講演	2016年11月	Visiting professors lecture program (Pilsen (Czech Republic))	Teruya Watanabe	
3. Qualitative movement analysis aimed at technique correction in athletics: a case study	学会発表	2016年11月	World Congress of Performance Analysis of Sport XI (Alicante (Spain))	Teruya Watanabe	
4. 愛知県教育委員会 子どもの体力向上運動プログラム実技講習会【東海】	講習会講師	2016年12月	愛知県教育委員会, 東海市市民体育館	渡辺輝也	
5. 愛知県教育委員会 子どもの体力向上運動プログラム実技講習会【三好】	講習会講師	2017年2月	愛知県教育委員会, 三好公園総合体育館	渡辺輝也	
6. 保健体育教職課程における実技指導力養成に向けた取り組みの成果と課題: 専門実技における走り高跳びの学習指導を対象とした事例的検討	学会発表	2017年3月	第30回日本スポーツ運動学会大会(つくば)	渡辺輝也	
7. 愛知県豊橋市立吉田方小学校校内教員研修「体づくり運動」研修会	研修会講師	2017年8月	豊橋市立吉田方小学校	渡辺輝也	